

大阪市立大学 平成 26 年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「**アートの活用形?**」

こどもとアーティストがつくる「熱くても「クールな」音楽祭！
関西を代表する打楽器奏者 2 名が各小学校に出向いて、夏休み期間中にワークショップを実施。
アーティストがこどもたちの個性を引き出し、
アイデアを共有しながら作り上げた音楽は限りなく創造的で刺激的。
その創意工夫の成果をコンサートとして発表します。

こども熱帯音楽祭 2014

大阪市立 本田小学校の有志 + 横沢道治
大阪市立 明治小学校の有志 + PIKA☆

2014年8月31日(日) 15:00-16:30
大阪府立江之子島文化芸術創造センターB1F
大阪市西区江之子島2丁目1-34

料金：無料 定員：50名

事前の予約は基本的に不要ですが、パフォーマンス内容や演出の都合で座席の数が少なく立ち見になることもあります。
あらかじめ座って観覧を希望される方は予約をおすすめします。

予約・問い合わせ先：NPO cobon タチヨナプロジェクト (担当：コジマ)

〒550-0006 大阪市西区江之子島 2-1-34 江之子島文化芸術創造センター内2F

Tel: 070(5650)5744 FAX: 06(6441)8140 E-mail: touchonart@gmail.com

こども熱帯音楽祭とは？

このプロジェクトは、

2006年のジャワ島での震災で大きな被害を受けた
 インドネシアの伝統音楽「ガムラン」の復興支援を目的に、日本在住
 のアジアの音楽・舞踊・文化関係者による「ガムランエイト」の活動がきっかけ
 となっています。震災直後からの継続的な支援活動がインドネシアとの「協働」へと変化
 していくなかで、2008年に現地パートナーのジョハン・サリム氏（インドネシア芸術大学教授）
 の提案により「こども創造音楽祭 / Creative Music Festival for children」としてジョグジャカルタ
 でスタート。被災の大きかったエリアの小学校を対象に、音楽を学ぶ学生たちがワークショップを実施し、
 年に一度の音楽祭を開催しています。このワークショップでは、インドネシアの伝統芸能や音楽を見直す同
 時に、楽器がない環境でも身の回りの素材で音楽を創作することを通じて、子どもたちが豊かな未来を切
 り開いてゆくための創造力を育むことを目的としています。一方、日本では「こども創造音楽祭」の共催者とし
 て関わっていた大阪市立大学都市研究プラサが主体となり、2012年に「こども熱帯音楽祭」として3名
 の音楽家と1名の舞踊家がそれぞれ大阪市内の小学校などでワークショップを行い、合同で発表する
 コンサートを開催。翌2013年には「KOBEデザインの日記念イベント」として神戸市内小学校4年
 生の有志22名と1名の音楽家が非楽器の日用品を使っただけの音楽に挑戦し、神戸市内のギャ
 ラリーで発表を行いました。第3回目を迎える今回は即興音楽をベースに活動す
 る2名の音楽家を講師に迎え、2つの小学校を対象として夏休み期間
 中にワークショップを実施し、その成果を発表する
 こととなります。



参加アーティスト
横沢道治：大阪市立本田小学校担当
 80年代半ばよりニューヨークに滞在。アフロキューバン音楽ルンバに出
 会い、コンガを始める。92年帰国。94年より、心斎橋で打楽器店タムタム
 カンパニーを主宰、ラテン、アフリカン・パーカッションのワークショップを始
 める。伝統的な形式に囚われない独自の教え方
 を行っている。2000～11年、夙川学院短期大学・
 美術科において楽器（カホン）の制作と演奏による
 表現の授業をおこなう。また2009年から現在まで
 滋賀県内で小学校との連携授業（アフリカン・パー
 カッションと創作楽器、ボディ・パーカッション、鍵盤
 ハーモニカなどの音楽制作・発表）を続けている。



PIKA☆：大阪市立明治小学校担当

2002年「あふりらんぼ」結成。ドラムヴォーカル担当。奇抜かつ独特なロッ
 クスタイルで、世界に旋風を巻き起こす。バンド解散後ソロ活動を開始し、
 ユニットやセッション等での共演者は国内外多岐にわたる。2011年に東
 日本大震災をキッカケに大阪からエネルギーを立ち上げ、
 「TAIYO33OSAKA」プロジェクトを立ち上げ、
 1000人で太鼓を叩く「太陽大感謝祭」や各地でドラ
 ムワークショップを開催。また、全国の小学校などで
 もゲストティーチャーとして招かれ、ドラムの生演奏、
 園工を通じた音作り、アフリカ紀行講演など子ども
 たちとの音作りにも力を入れ、実験的かつプリミ
 ティブな音を追求している。 <http://pineco.pw>



本事業は、大阪市立大学が平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」に採択されて
 実施する「社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業」の一環として、
 NPO法人cobon タチオナプロジェクトと連携して行っています。 <http://artsmanage.jp>

※NPO Cobon タチオナプロジェクト

「Touch on art (タチオナ)」は子どもたちがアートに触れて体感する芸術体験プログラム。
 2011年に大阪市内公立小学校での「大阪市芸術体験授業」を実施したのを皮切りに、現在ま
 で京阪神地域を中心に小中学校、アートセンターや地域の施設などで幅広いアートワーク
 ショッププログラムを展開しています。現在NPO cobon (旧NPO こども盆栽) のプロジェクトとして
 運営しています。 <http://touchonart.net/>

主催：大阪市立大学

共催：NPO法人cobon タチオナプロジェクト、大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

協力：大阪市立本田小学校、大阪市立明治小学校

